

☆ 中 国

合繊原料

揚子石化起草の PTA 国家規格が正式に発表

このほど、国家質量監督検閲検疫総局と国家標準化管理委員会が共同で「2016 年第 8 号国家規格公告」を発表、国内大手 PTA メーカーの揚子石化が起草した PTA 製品規格及び PTA 粒度分布など 5 つの試験方法が正式に 2017 年 1 月 1 日より実施することとなった。これは中国で初めての PTA の国家規格である。

揚子石化は、1989 年に年産 45 万トンの PTA プラントの稼働を開始し、かつては中国最大、国産 PTA の 90% 以上のシェアを占めたこともあり、同社の品質は、顧客から「世界一流、アジアで最良」との評判を得ており、揚子石化の PTA 上場価格は国内の市況の参考とみなされた。

現在、揚子石化の PTA 生産能力は年産 105 万トンに達しており、同社は中国企業でいち早く ISO9000 品質管理体系を取得した。同社は、PTA 技術の開発にも成功しており、2 号 PTA プラントの技術改造は同社の自主技術である。

しかし、中国では、長期にわたり統一した国家規格がなく、各企業は各自企業が自ら決めた規格で生産していた。特に、近年、民間企業が PTA 業界に参入、中国国内の PTA の生産能力は年産 5,000 万トンを超え、中国は世界一の PTA 生産大国となった。

こうしたことを受け、国家標準化委員会は、国内の PTA 製品の品質管理を規範化し、製品の品質を向上させるとの目的から、揚子石化に PTA 国家規格の起草を委託した。

揚子石化は、規格起草専門家グループを組織し、広く調査研究を進め、海外の規格を参考にし、顧客のニーズに基づいて、PTA 酸値などの新しい要素を加え、規格のドラフトを作成、その後、業界の専門家や国有・民間企業関係者からなる規格起草討論会を開催し、規格起草案を作成、国家標準化委員会に報告を行った。

今回の規格起草に関して、業界関係者は、中国石化(シノペック)系企業の生産能力の割合が縮小しているからとあって、同グループの業界内での発言権が決して弱体化はしていないことを示しているとのコメントをしている。

☆ スペイン

環 境 Inditex と Lenzing、不要となった衣類で繊維素材を生産

Zara などのアパレルブランドを展開する Inditex グループは、大手レーヨンメーカー Lenzing と、Inditex の不要となった衣類を使って高品質な繊維素材を生産することで合意した。Inditex が Lenzing に提供する衣類は約 500 トンの予定だが、今後数年以内に約 3,000 トンに増やす計画。これは約 4,800 万着の衣類を生産できる量に相当する。

Inditex は、スペインの大学などと、衣類をリサイクルして新たな繊維を生産する技術を研究しているほか、最新の「Environmental Strategy Plan」では、製品サイクルにおいて循環経済モデルにコミットしていくと発表した。

また、Zara では、スペインの慈善団体 Caritas と運送会社 Seur との共同事業として、オンラインで商品を購入した客に古着のルームウェアを贈呈する企画を 9 月から Madrid で試験的に行う。最終的には、スペイン全土で実施する予定。また、同社と Caritas は、国内の主要都市で 1,500～2,000 着の衣類を回収する箱を設置する。Caritas は回収した衣類の分別・整理を行っており、Inditex は今後 2 年間に Caritas に対し 3,500 万ユーロの支援を行う計画である。

H&M も、100% 循環のビジネスモデルに向けて取り組みを行っており、2015 年に店舗で不要となった衣類を集めたところ 12,000 トン以上が回収された。同社が昨年生産した衣類の少なくとも 20% がリサイクル素材であったという。